

平成29年度の事業報告書

特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋

第十五期事業報告書

I 事業期間

平成29年6月1日～平成30年5月31日

II 事業実施概要

今年度は、「ゲストハウスとカフェと庭 ココルーム」の運営体制の刷新を行った。またマネジメントスタッフの人手不足を補うべくたちあがったサポートチーム「アマプー」とともに、釜ヶ崎芸術大学を運営した。従来からつづけている野宿を考えおむすびを配る「夜回り」、医療団体と連携した「まちかど保健室」（無料相談）など、地道な活動もつづけている。

地域の高齢化による人口減少に比例して、街はホテル街化し、地域の様子が激変し、当法人の短期ミッションが明確になった。「釜ヶ崎の記憶と記録」を「であいと表現」によって紡いでいくこと。釜ヶ崎のひとりひとりの人生のたねを多様な人々、とくに若者たちに手渡していくこと。このミッションはあと2～3年であろう。

ゲストハウスの運営は、近隣の安宿、民泊などの急増により苦戦している。けれど、ユニークな表現活動や交流、美味しい家庭料理、オアシスのような庭を楽しむリピーターも多くなった。スタッフも刷新し、人数も増えたことから、ゲストとのコミュニケーションも向上した。すこし離れたところに一組だけの宿・はなれ「松の木」をオープンさせ、特区民泊の認可をうけた。ここには若手画家に依頼して日本画風の松林の絵を描いてもらい、ささやかながら若手画家の発表機会を創出した。

注目の高い釜ヶ崎芸術大学は6年目。釜芸がめざしてきた「参加者が運営主体へ」という理念が運営側が弱体化したときに発揮されたことは興味深い。今年度もアマプーが下支えをにない、鳥取での釜芸俳句講座を代表の代わりに進行するなど、活躍した。地域の人々は高齢化がすすみ、入退院をくりかえしたり、亡くなることもおおく、またアルコール依存も深刻である。福祉関係との連携や大学など研究機関との関係などを模索しながら、釜芸への地域住人の参加をうながしているが、それがすすまないことに希望を失うより、地域外の人たちが釜ヶ崎に足を踏み入れることを積極的にとらえるようになった。釜ヶ崎や釜芸にであい、この地域の空気を吸うことが、社会の可能性となることを捉えようとする。

当法人がゲストハウスの運営をはじめたことにより、釜芸やひと花センターでの表現プログラムに外国人ふくめ旅行者が参加することが増え、地域交流・国際交流の機会となっていることは特徴としてあげられる。10代・20代の若者をあずかることになるなど、宿泊業と若者支援の可能性を感じる出来事もあった。

「西成区単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業／ひと花プロジェクト」は当法人を含む4つのNPO法人の連合体で今期も受託して5年目。当法人は主にアートのワークショップ「表現プログラム」のコーディネートを担当している。自尊心の向上やコミュニケーションの潤滑としての表現プログラムであるが、参加者の固定化の問題などはなかなか改善されない。連合体の一員

として、社会的つながりを果たしうるさまざまな取組みを検証し、事業委託というかたちであることから公益性に資する事業のあり方についても考察を深めてきたが、自ら事業費を獲得するというあり方の検討も含め、考えていきたい。また、2011年から2年間運営に関わってきた「支援ハウス路木」の夜間休日の突発的トラブルに対応。地域の状況に即して、高齢者・障がい者への取組み、LGBTや精神障害をもつ若者の流入が大きくなってきたと感じる。街の変化のなかで、多様性をいかした先駆的モデルとなるよう、ひきつづき取組みを進化させ、言語化したい。

高齢化が進む釜ヶ崎の街は、グローバリゼーションの大波をかぶり、転換期を迎えている。隣の浪速区との連携が実験的に当法人に持ち込まれるなど、すべてがどうなってゆくか予想のできない状況である。

組織としては、あたらしいスタッフがあたらしい視点で街に関わり、またスタッフだけでなく当法人と関わる人々の関わり方も多様化している。アマプー、庭担当、インターン、長期滞在者など。グラデーションをよく理解したうえで、有機的な組織作りを行うことが今後に影響を与えるだろう。

冬期の後半、組織に関わる若者の、語れない人生の困難さに直面することになった。他者とであり、他者と関わることの可能性と未確定さを前に、呼びかけつづけるという態度を持つしかない。人生は代わることはできず、孤独であることを引き受けながら、それでもひとりひとりが顔をあげ、足をすすめたいうしろに希望の花が咲いている、と信じる。

Ⅲ 事業の報告

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 交流スペース及び市民相談窓口管理事業

〔事業名〕 交流スペース及び市民相談窓口管理事業

〔内容〕 カフェと庭の管理運営を行い、市民に開かれた文化活動の場を提供することに務め、アートによるつながりづくりを実施する

〔実施場所〕 ゲストハウスとカフェと庭 ココルーム

〔実施日時〕 6月～5月、7時30分から21時30分

〔事業の対象者〕 一般市民

〔収入〕 ￥ 204,501円 (内訳 事業収益204,501円)

〔支出〕 ￥ 1,228,679円 (内訳 報酬12,252円、消耗品費7,090円、水道光熱費100,828円、諸会費16,260円、旅費交通費1,070円、謝金197,348円、管理費35,142円、家賃841,667円、支払手数料432円、交際費3,132円、租税公課4,392円、雑費9,066円)

(2) 調査・研究とその発表の為の放送・出版・ウェブ制作及び流通事業

〔事業名〕 出版事業

〔内容〕 上田假奈代著『釜ヶ崎で表現の場をつくる喫茶店、ココルーム』の出版

〔実施場所〕 国内全域

〔実施日時〕 6月～5月

〔事業の対象者〕 一般市民

〔収入〕 ￥ 552,310 (内訳 事業収益552,310円)

〔支出〕 ￥ 379,920 (内訳 売上原価379,920円)

(3) 人と街と文化に焦点をおいた地域活性化事業

[事業名] まちかど保健室
[内 容] 釜ヶ崎地域の人向けに無料の健康相談会（血圧と歯科相談）を月1回継続して行う。

健康の不安をきくことは日常生活の基礎部分を支えることにつながり、生活の中の悩み

をきくきっかけともなる

[実施場所] ゲストハウスとカフェと庭 ココルーム玄関
[実施日時] 6月～5月
[事業の対象者] 一般市民
[収 入] ￥ 200,000(内訳 助成金200,000円)
[支 出] ￥ 207,374(内訳 外注費50,000円、印刷製本費54,760円、通信費907円、謝金100,000円、租税公課1,707円)

(4) 人と街と文化に焦点をおいた地域活性化事業

[事業名] 釜ヶ崎まち案内
[内 容] 釜ヶ崎のまちを歩きながら歴史や現状について、一般市民を対象として水野阿修羅さんにまち案内をしてもらう。

[実施場所] 釜ヶ崎地域
[実施日時] 6月～5月
[事業の対象者] 一般市民
[収 入] ￥ 79,500円 (内訳 参加費79,500円)
[支 出] ￥ 38,000円 (内訳 旅費交通費38,000円)

(5) アーツマネージメント普及のためのコンサルティング事業

[事業名] 「釜ヶ崎芸術大学」事業
[内 容] 釜ヶ崎地域を大学にみたくて、さまざまな講座を開催する。誰もが集い学び合える場と機会を創出する。

[実施場所] 釜ヶ崎地域など
[実施日時] 6月～5月
[事業の対象者] 一般市民、企業、NPOなど
[収 入] ￥ 2,000,000円 (内訳 助成金 2,000,000円)
[支 出] ￥ 5,490,174円 (内訳 外注費140,000円、消耗品費5,392円、事務用品費246,015円、印刷製本費118,849円、通信費269,910円、旅費交通費229,532円、謝金635,000円、会場費84,960円、支払手数料432円、制作費326,946円、広報60,250円、交際費1,500円、会議費1,800円、租税公課9,831円、人件費3,359,757円)

(6) アーツマネージメント普及のためのコンサルティング事業

[事業名] 「詩の学校」事業
[内 容] 月に1回、市民を対象に上田假奈代の「詩の学校」を開催。
[実施場所] 應典院
[実施日時] 6月～5月
[事業の対象者] 一般市民
[収 入] ￥ 96,000 (内訳 参加費96,000円)
[支 出] ￥ 62,000 (内訳 会場代12,000円、人件費50,000円)

(7) 高齢者・障がい者のつながりづくり事業

[事業名] 「ひと花プロジェクト」事業
[内 容] 西成区の単身高齢生活保護受給者のためのつながりづくり事業への参画および、表現プログラムのコーディネート、就労体験受け入れ
[実施場所] 地域
[実施日時] 6月～5月
[事業の対象者] ひと花センター登録者及び一般市民
[収 入] ￥ 660,312 (内訳 事業収益 660,312円)
[支 出] ￥ 301,942 (内訳 人件費274,872円、租税公課27,070円)

(8) 高齢者・障がい者のつながりづくり事業

[事業名] 「ライフサポート路木」事業
[内 容] ライフサポート路木と連携し、高齢者・障がい者が社会とつながる機会と安心して生

活できる場をつくるための生活サポートなど

[実施場所] 地域
[実施日時] 6月～5月
[事業の対象者] 支援ハウス路木住民及び一般市民
[収 入] ￥ 600,000 (内訳 事業収益600,000円)
[支 出] ￥ 600,000 (内訳 人件費600,000円)

(9) 包摂型就労支援事業

[事業名] 就労体験受け入れ
[内 容] コネクションズおおさかと連携し、働くことに不安を抱える若者に就労体験の場を提供

する

[実施場所] ゲストハウスとカフェと庭 ココルーム
[実施日時] 6月～5月、随時実施
[事業の対象者] 一般市民
[収 入] ￥ 9,000
[支 出] ￥ 193 (内訳 租税公課193円)

(10) カフェ事業

[事業名] カフェ事業
[内 容] 交流スペースにおけるつながりづくりとしてのカフェ事業
[実施場所] ゲストハウスとカフェと庭 ココルーム
[実施日時] 6月～5月、7時30分から21時30分
[事業の対象者] 一般市民
[収 入] ￥ 5,094,000 (内訳 事業収入5,094,000円)
[支 出] ￥ 3,490,102 (内訳 人件費1,640,000円、売上原価1,698,596円、消耗品費9,418円、水道光熱32,175円、旅費交通費500円、租税公課109,413円、雑費9,900円)

(11) ゲストハウス事業

[事業名] ゲストハウス事業
[内 容] であうと表現の場としてのゲストハウス事業
[実施場所] ゲストハウスとカフェと庭 ココルーム
[実施日時] 6月～5月

[事業の対象者] 一般市民

[収入] ¥12,473,557 (内訳 助成金400,000円、事業収入12,073,557円)

[支出] ¥13,087,729 (内訳 人件費3,736,881円、売上原価96,074円、外注費579,348円、報酬45,033円、消耗品費1,018,110円、事務用品費324円、印刷製本費20,388円、水道光熱費970,678円、通信費617,365円、諸会費62,805円、旅費交通費395,120円、謝金10,000円、管理費212,580円、家賃5,700,000円、支払手数料549,314円、修繕費8,116円、広報1,104,600円、交際費30,000円、租税公課259,331円、減価償却費146,789円、リネンクリーニング費810,324円、雑費451,430円)

IV 社員総会の開催状況

第13回定時総会

[日 時] 平成 29 年 8 月 31 日 14 時 00 分から 15 時 00 分まで

[場 所]

大阪市西成区太子2-3-3 ゲストハウスとカフェと庭 ココルーム

[社員総数] 29名

[出席者数] 正会員29名中23名 (内委任状参加者10名)

[内 容] 第1号議案

平成 28 年度 (第 14 期) 事業報告、決算及び監査の承認の件

第 2 号議案 平成 29 年度 (第 15 期) 事業計画及び予算の件

第 3 号議案 役員選任

すべて審議の結果、満場異議なく承認可決。

V 理事会その他の役員会の開催状況

第14回定時理事会

[日 時] 平成29年7月16日 13時30分から14時00分まで

[場 所]

大阪市西成区太子2-3-3 ゲストハウスとカフェと庭 ココルーム

[理事総数] 12名

[出席者数] 12名(委任状6名)

[内 容]

第 1 号議案 平成 28 年度 (第 14 期) 事業報告、決算及び監査の承認の件

第 2 号議案 平成 29 年度 (第 15 期) 事業計画及び予算の件

第 3 号議案 役員選任

すべて審議の結果、満場異議なく承認可決。